

森づくりの最前線

埼玉森林管理事務所 秩父森林事務所 首席森林官 川島光広

管轄する国有林はその秩父市の一部と、平成25年4月からときがわ町、毛呂山町の国有林も管轄しています。秩父市内の国有林は、東京都最北端付近の西谷山と接する県都境付近にあり、首都圏の水源である荒川の源流域となっていることから、特に緑のダムとしての機能を重視した山作りを行っています。地質は我が国で最も古い「秩父古生層」で各種基岩や化石等も多く、地質研究の宝庫と言われていますが、東京都側から一歩秩父市側に入ると、急峻で森林というよりは崖という感じで、新緑



日本三大曳山祭「秩父夜祭」

私が勤務する秩父森林事務所は、埼玉県秩父市に位置しています。秩父市と言えば例年日本三大曳山祭の「秩父夜祭」が12月3日に行われ、先月も多くのお客で賑わいました。



浦山国有林の新緑



浦山国有林の紅葉

また、近年シカやクマなどにより、スギやヒノキなどの皮剥ぎや食害などの被害が多く、これらの影響により木が枯れてしまい、表土の流失などが起き始めています。植えたばかりの時には周りを柵で囲ったり、1

本1本に網などをかぶせるなどしてありますが、昨年2月の観測史上最大の積雪により柵が倒されるなど、完全な対策はなく、コストもかかることから、試験等を行いながらより良い対策を行っているところです。



急峻な地形(中川国有林)



シカにより剥皮されたヒノキ



シカ被害の状況 (赤く見えるのが被害木)

また、成長した木についても、来年度より皮剥ぎ防止対策を行っていく予定となっています。ときがわ町と毛呂山町の国有林については、神社仏閣や住宅に近い所も多いことから、境界の管理や倒木等の被害がないかなどの巡視を重点に行っており、市街地に近く比較的傾斜が緩い立地条件を生かし、「森と人の会」のボランティア等の活動や、なかなか森林にふれあう機会が少ない近くの小学生を対象に森林教室などを行っています。趣の異なる国有林ですが、これからもその特性を生かしながら、森づくりを行っていきたくと考えています。



「森と人の会」と作業地の事前調査